別　紙

令和6年度　訪問看護実践研修プログラム

公益社団法人岐阜県看護協会

目的：病院および診療所に勤務する看護職が、地域の訪問看護ステーションに於いて、同行訪問などをとおして訪問看護の実際を学び、在宅療養移行支援能力の向上及び、病院および診療所と訪問看護ステーションの連携強化を図る

日　程		時　間	研修内容	講師予定
1日目	9月20日 （金） 集合研修 県民ふれあい会館3階 301会議室	9：50～10：50	・オリエンテーション ・ヒューマンネットワーク	研修担当者
		11：00～12：00	在宅医療における行政の現状 ・社会の動向 ・岐阜県の現状	岐阜県健康福祉部医療福祉連携推進課 在宅医療福祉係長 鷲見　和良　氏
		13：00～16：00	地域包括ケアシステムにおける在宅医療の役割・機能 ・在宅医療、訪問診療の実際	いろは在宅ケアクリニック 院長　土屋　邦洋　氏
2日目	10月16日 （水） 集合研修 県民ふれあい会館5階 特別研修室	9：50～10：00	・オリエンテーション	研修担当者
		10：00～12：00	地域包括ケアシステムにおける薬剤師・薬局の役割・機能 ・地域における薬剤師の実際 ・関係機関、関係職種との連携	華陽しいのみ薬局 薬剤師　土屋 辰司　氏
		13：00～16：00	地域包括ケアシステムにおける病院看護師が担う在宅移行支援 ・退院支援が求められる背景 ・退院支援・調整における看護師の役割と視点 ・病院と地域をつなぐ看護師の役割	日本福祉大学　社会福祉学部 教授　篠田　道子　氏
3日目	11月25日 （月） 集合研修 県民ふれあい会館5階 特別研修室	9：20～9：25	・オリエンテーション	研修担当者
		10：00～12：00	地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割・機能 ・訪問看護の役割・機能の実際 ・訪問看護制度と現状 ・関係機関、関係職種との連携 ・看護小規模多機能居宅介護について ・定期巡回随時対応型訪問介護看護について	医療法人和光会　訪問看護センター センター長兼看護部長　長縄　保宏　氏
		13：00～16：00	地域包括ケアシステムにおける訪問看護の実際 ・5圏域の訪問看護の現状 ・地域での多職種連携について（演習）	５圏域の訪問看護ステーション管理者 ５名
		16：05～16：30	臨地実習のオリエンテーション	研修担当者
実習 （3日間） 4日目 5日目 6日目	12月～ 1月	実習3日間 実習時間は、訪問看護ステーションの勤務時間等に準じる	訪問看護実習（見学） ・同行訪問をとおして援助の実際と看護師の役割について （看取り事例、病院から在宅への継続事例、医療依存度の高い事例など） ・地域包括ケアシステムにおける多職種との連携について （可能であればサービス担当者会議や地域会議に参加）	５圏域（各地域） 訪問看護ステーション
7日目	2月19日 （水） 集合研修 県民ふれあい会館5階 特別研修室	9：50～10：00	・オリエンテーション	研修担当者
		10：00～12：00	地域包括ケアシステムにおける多職種連携で看護師に求められること ・関係機関、関係職種との連携、介護支援専門員の立場から ・社会資源と福祉制度	ケアプランセンターひだまり創 管理者　安達 智紀 氏
		13：00～16：00	訪問看護病院等研修との相互研修 合同研修の目的： 『看看連携の実際を振り返り、関係機関職種の専門性を尊重し円滑な連携が理解できる』 ＊それぞれの実習での学びや気づきを共有	＜ファシリテーター＞ ・ケアプランセンターひだまり創 管理者　安達　智紀　氏 ・訪問看護師 ・病院・地域連携室看護師 等